

NJ日本人学校

6年生が修学旅行

ニュージャージー日本人学校(岡村富広校長)の6年生11人が、9月16日から18日まで、2泊3日の修学旅行を行い、ベンシルベニア州フィラデルフィア市を訪れた。

1日目は、まず米国憲法センターを訪れ、米国憲法や受け継がれた自由の権利について学ぶとともに、憲法に関わりの深い大統領について児童一人ひとりがガイドを行った。次に造幣局(Mint)を訪れ、工場の観察を通して長い金属板から一枚一枚の硬貨が作られる仕組みを学んだ。

2日目は、フィラデルフィアの街を巡る班別活動を行った。事前にそれぞれの訪れたい場所、所要時間を考えて臨んだ班別活動である。地図を見て友達と相談しながら、リバティベール・センター、インディペンデンスホール、インディペンデンス・シーポート・ミュージアム、ベッツィロス邸、フランクリンコート、シティーホール、ラフパーク等を回った。児童は米国

建国に関わる貴重な文化遺産を間近にし、遠い昔に思いを馳せていた。その後、フランクリン科学博物館を訪れ、ベンジャミン・フランクリンの功績や教室ではなかなか味わえない実体験を通して、科学の楽しさを再確認した。

3日目は、フィラデルフィア美術館でゴッホの「ひまわり」やセザンヌの「大水浴」といった有名な画家の名作を間近で観たり、東州刑務所 (Eastern State Penitentiary) を訪れて、ハプ状の形態をした刑務所の監視機能や囚人の生活について学んだ。さまざまな活動の中で、米国の歴史に触れ、先人たちの知恵や苦勞を知った子供たちは、将来どのような世の中を創造していくか多くのアイデアを得たようであった。



週間NY生活 平成27年10月3日